

単元名 おおきい かず

授業者： 渡部 美智子
11月30日(水) 2時間目

小単元

使用アプリ

SKY

本時の「評価規準」【思考力・判断力・表現力】
「10のまとまり」「ばら」という数の見方を活用して、数の数え方を考え説明している。

学習展開	アナログとデジタルの活用
<p>1 本時の問題を聞き、題意をつかむ。 ○まつぼっくり、みんなの分あるかな。 ●たりそう。 ●ぎりぎり、かなあ。 (も)なんこ あるのかな。</p> <p>2 本時の目標を確認する。 (め)くふうして かぞえよう。</p>	<p>1 実物を提示して場面の様子を説明することで、学習活動への関心をもたせる。</p> <p>2 ノートにめあてを書く。</p>
<p>3 どんな数え方が使えるかを考え、数える。 ○正しく、わかりやすく数えられないかな。 ●しるしをつける。【表現】 ●まとまりをつくる。</p> <p>4 全体で考えたことを交流する。 ○どことなくふうをして数えたかな。【思考】 ●10のまとまりをつかった。 ●10になれないのもあったよ。</p> <p>5 数の数え方を整理する。【表現】 A: 10(のまとまり)が 3こ⇒30 1(のばら) が 8こ⇒ 8 B: 10(のまとまり)が 5こ⇒50 1(のばら) が 0こ⇒ 0</p> <p>6 数の読み方を確認する。【思考】 A: 30と8で さんじゅうはち B: 50と0で ごじゅう</p>	<p>3 ジャムボード上の松ぼっくりを使って、自分の考えた方法で数える。 【評価B基準】 10のまとまりをつかってかぞえることができている。</p> <p>4 考えたことをSKYを使って全体で見えるようにして交流する。 ○考えた方法を取り上げ、全体に広げる。</p> <p>5 ジャムボードに書き、全体で交流する。 ○AとBを比較し、似ているところと違うところに着目させる。</p> <p>6 AとBの読み方の違いをおさえる。</p>
<p>7 本時のまとめをする。 ◎10が()こ、1が()こをあわせると いい。</p> <p>8 本時のふりかえりをする。【表現】 ①工夫して数えることができた ◎ ○ △ ②数の読み方がわかった ◎ ○ △</p>	<p>7・8 ノートを回収し、評価につなげる</p>

「振り返り」の工夫

めあてに対しての自己評価を記号で行うことで、全員が振り返ることができる。

授業者より(実践してみて)

時間配分が甘く、まとめまでに時間がかかってしまった。タブレット上に松ぼっくりを準備したことで、全員が「数を数える」活動をするのに効果的だった。活動したことから一般化に結び付く部分を「SKY」にある「画面比較できる機能」を有効に使って結びつけるとよかった。